

問1 フランスがEU最大の農業国として、他のヨーロッパ諸国を上回る規模で小麦の生産を行える地理的な背景や特徴について述べたものとして、最も適切なものはどれですか。 (2018年 長野県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. アルプス山脈の急峻な地形を利用し、段々畑での集約的な生産が行われているため。 | 2. 国土の大部分が干拓地であり、高度な灌漑設備を用いた施設園芸が主流であるため。 | 3. 広大な平原を利用して、大型機械を導入した大規模な畑作が行われているため。 | 4. 全土が地中海性気候に属しており、夏の乾燥を利用した小麦栽培に特化しているため。 |
|---|---|---|--|

問2 ヨーロッパの気候を形成する要因について、その仕組みを説明した文として最も適切なものはどれですか。 (2026年 兵庫県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 暖流である北大西洋海流の影響を受けた暖かい空気が、偏西風によって大陸に運ばれるため、緯度のわりに温暖になる。 | 2. 暖流である黒潮がヨーロッパ近海まで到達しており、大西洋から吹くつける偏西風がその熱を大陸の奥深くまで届けている。 | 3. 寒流である北大西洋海流の影響で大気が冷やされるが、大陸から吹く季節風が暖かい空気を運ぶため、冬の寒さが緩和される。 | 4. 赤道付近から北上する暖流と、極地方から南下する寒流がヨーロッパ西岸でぶつかり、その上昇気流を偏西風がとらえることで温暖になる。 |
|---|---|--|--|

問3 ヨーロッパにおける環境・エネルギー政策に関連して、アイスランドやイタリアで広く普及している「地熱発電」の説明として、その背景や分類を含めた記述として最も適切なものはどれですか。 (2024年 長崎県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. アルプス山脈などの急峻な地形と豊富な降水量を活かしており、天候に左右されやすい再生可能エネルギーの一つである。 | 2. 偏西風が強く吹く北海沿岸の気候を活かしており、温室効果ガスを排出しない再生可能エネルギーの一つである。 | 3. 火山が集中する地域の熱エネルギーを利用しており、二酸化炭素の排出が少ない再生可能エネルギーの一つである。 | 4. 地中海沿岸の乾燥した気候と強い日差しを活かしており、枯渇する恐れがある化石燃料の一つである。 |
|--|--|---|---|

問4 ヨーロッパ州の北西部は高緯度に位置していますが、同緯度の他地域である北アメリカ大陸北東部などと比較して、冬でも気候が温暖であるという特徴があります。この要因となっている、北米東岸からヨーロッパ方面へ流れる暖流と、その上空を一年中吹いている恒常風の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2025年 神奈川県公立入試 類似)

- | | | | |
|-----------|---------------|---------------|--------------|
| 1. 親潮と偏西風 | 2. 北大西洋海流と季節風 | 3. 北大西洋海流と偏西風 | 4. リマン海流と偏西風 |
|-----------|---------------|---------------|--------------|

問5 ヨーロッパ北西部で広く行われている、小麦やライ麦などの穀物栽培と、牛や豚などの家畜の飼育を有機的に組み合わせて行う農業形態を何といいますか。 (2014年 愛媛県公立入試 類似)

- | | | | |
|-------|---------|-------|-----------|
| 1. 酪農 | 2. 混合農業 | 3. 移牧 | 4. 地中海式農業 |
|-------|---------|-------|-----------|

問6 ノルウェーの沿岸部に見られる、かつて厚い氷の塊が移動しながら地表面を削り取り、その谷間に海水が深く入り込むことで形成された複雑な地形を何と呼びますか。 (2024年 佐賀県公立入試 類似)

- | | | | |
|-----------|----------|--------|----------|
| 1. カルスト地形 | 2. リアス海岸 | 3. 三角州 | 4. フィヨルド |
|-----------|----------|--------|----------|

問7 地中海の北側に位置するイタリア半島やフランスなどの周辺に広がるアルプス山脈の地形的特徴について説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2026年 鳥取県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 非常に古い時代に形成された山脈であり、長年の侵食によって全体的になだらかな地形となっている。 | 2. 安定陸塊と呼ばれる非常に古い地層の上にあり、地震や火山活動が全く見られない広大な平原である。 | 3. 石炭の埋蔵量が多く、大規模な炭田開発が行われてきた標高の低い山脈である。 | 4. プレートの運動によって形成された比較的新しい山脈であり、高く鋭い山頂が連なっている。 |
|---|---|---|---|

問8 欧州連合（EU）が抱える現在の課題について述べた文として、背景や実態を正しく説明しているものはどれか、次の中から選びなさい。 (2015年 佐賀県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 加盟国間の経済格差をなくすため、すべての加盟国で農業を廃止し、工業に特化する政策が進められている。 | 2. 加盟国の総面積がアメリカ合衆国や中国の面積を大きく上回ったため、広大な領土の防衛費が財政を圧迫している。 | 3. 加盟国間での産業発展の度合いや生活水準の格差が広がっており、その格差の是正が大きな課題となっている。 | 4. 全ての加盟国が共通通貨ユーロを強制的に導入させられた結果、物価の急騰が深刻な問題となっている。 |
|--|---|---|--|

問9 EUの拡大にともなう課題を説明した次の文のうち、イギリスがEU離脱を決断した背景にある、社会的な要因と文化的な要因をまとめたものとして最も適切なものはどれですか。 (2024年 北海道公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|-------------------------------------|--|
| 1. 域内からの移民の流入が急増したことへの不満や、自国の伝統や文化が損なわれることへの懸念 | 2. 共通通貨ユーロの導入により、自国の金融政策が自由に行えなくなったことへの反発 | 3. 農産物の輸入自由化によって、国内の農業が壊滅的な打撃を受けたこと | 4. 周辺諸国との領土問題が解決せず、安全保障上の不安が解消されなかったこと |
|--|---|-------------------------------------|--|

問10 アルプス山脈が東西に連なり、ライン川などの国際河川が流れる地域で、多くの国がEU（欧州連合）を結成して経済的・政治的な結びつきを強めている州はどこか。 (2017年 北海道公立入試 類似)

- | | | | |
|---------|-----------|----------|-----------|
| 1. アジア州 | 2. 北アメリカ州 | 3. アフリカ州 | 4. ヨーロッパ州 |
|---------|-----------|----------|-----------|

問11 EU加盟国の経済状況を示した統計データにおいて、2004年以降に加盟した東欧などの国々の一人当たりの国内総生産は、以前からの加盟国であるドイツやフランスなどと比較して低い水準にあります。このような域内の経済的格差がもたらしている現象として、適切なものはどれですか。 (2020年 熊本県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. より高い賃金や雇用を求めて、東欧などの新規加盟国から西欧の国々へ労働者が移動している | 2. 経済水準が低い国を保護するため、EU加盟国間での農産物の貿易が全面的に禁止された | 3. 経済的格差を解消するため、EU内のすべての加盟国において公用語を一つに統合した | 4. 賃金の安い労働力を確保するため、西欧の高度な技術を持つ企業が東欧から一斉に撤退している |
|---|---|--|--|

問12 オランダは国土面積が小さいながらも、農産物の輸出額が世界有数の規模を誇っています。貿易統計において、1位の輸出相手国がドイツ、2位がベルギーといった隣接する諸国への取引が中心となっている理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2024年 東京都公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 偏西風や北大西洋海流の影響による寒冷な気候を理由に、近隣諸国から農作物の生産を委託されているため | 2. 欧州連合（EU）に加盟しており、加盟国間での関税がかからず、人・物・資本が自由に移動できるため | 3. 環太平洋パートナーシップ協定（TPP）の影響で、周辺のヨーロッパ諸国がアジアからの輸入を制限しているため | 4. アフリカや南アメリカなどの旧植民地との貿易が衰退し、地理的に近い国々との物づく交換を推奨しているため |
|---|--|---|---|